

# 水稻新品種「なすひかり」の育成

## 1. 試験のねらい

早生で良食味品種であるひとめぼれが耐倒伏性が弱いことや、コシヒカリと比較して価格差が拡大していることなどの理由から作付面積が減少している。また、作付品種がコシヒカリに集中し81%を越える状況になっている。そのコシヒカリが外観品質や作柄の安定上でも問題になっているため、早生で栽培性に優れ、多収で良食味の品種の育成を図る。

## 2. 試験方法

平成2年8月に早生で食味が良く栽培性に優れた多収品種の育成を目標に、コシヒカリを母とし、愛知87号を父として人工交配し、選抜固定を図った。平成8年「う系82」の系統番号を付し、平成10年には「栃木7号」の系統名を付して、生産力検定試験本調査に供試した。平成11年には現地試験に供試し地域適応性の検討をした。平成16年3月に栃木県の奨励（認定）品種に採用され、平成16年に品種登録を出願した。

## 3. 試験結果及び考察

(1) 特性の概要 なすひかりはひとめぼれと比較して、次のような特徴がある。

- 1) 出穂期は1日、成熟期は2日遅く、コシヒカリと比較すると出穂期で5日、成熟期で8日早い(表 - 1)。
- 2) 稈長、穂長、穂数は同程度である(表 - 1)。
- 3) 稈がやや太く、耐倒伏性が強い(写真 - 1)。
- 4) 収量は、やや多収である(表 - 1、図 - 1)。
- 5) いもち病はやや強く、葉いもち、穂いもち共に「中」である(表 - 2)。
- 6) 千粒重がやや重く、粒大もやや大きい(表 - 1、図 - 2)。
- 7) 耐冷性は同程度に強く「極強」である(表 - 2)。
- 8) 食味は、味・総合評価共にやや優る(表 - 3)。

(2) 栽培上の注意点

- 1) 発芽がやや遅いので、播種前の浸種を充分行う。
- 2) 耐倒伏性は強いが、多肥栽培は品質・食味が低下するので避ける。
- 3) いもち病に対するほ場抵抗性は中程度なので、葉いもちの発生が見られたら適期防除を行う。

## 4. 成果の要約

ひとめぼれに比べて、倒れにくいいもち病にも強いなど栽培性にも優れ、品質、食味の優れた「なすひかり」を育成した。この品種は粒がやや大きいことから1.85mm篩選にも十分対応でき、ひとめぼれに替わる良食味米として期待できる。

(担当者 作物経営部 作物品種開発研究室 伊澤 由行)

表 - 1 生育・収量調査結果

品種名	出穂 期月 日	成熟 期月 日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	倒伏 程度	病害の程度			玄米 重 kg/a	同左 比率 %	千粒 重 g	品質	等級
							葉い もち	穂い もち	紋枯 病					
なすひかり	7.28	9. 8	85	19.4	416	0.6	0.1	0.2	1.2	61.1	104	22.7	2.8	1下
ひとめぼれ	7.27	9. 6	83	19.3	442	1.4	0.1	0.7	1.4	58.6	100	22.2	3.7	2上
コシヒカリ	8.02	9.16	95	19.2	396	3.3	0.1	0.5	1.3	56.5	96	21.5	4.3	2上

注 1. 標準栽培：5月上旬移植、平成8年～15年の平均。

2. 倒伏及び病害の程度は、0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚で表した。

3. 品質及び等級は関東農政局栃木農政事務所調べ。品質は1.0(上上)～9.0(下下)、等級は1上～3下の9段階で表した。

表 - 2 特性検定試験

品種名	耐冷性	穂発 芽性	葉い もち	穂い もち	白葉 枯病
なすひかり	極強	難	中	中	中
ひとめぼれ	極強	難	やや弱	やや弱	中
コシヒカリ	極強	難	弱	弱	中

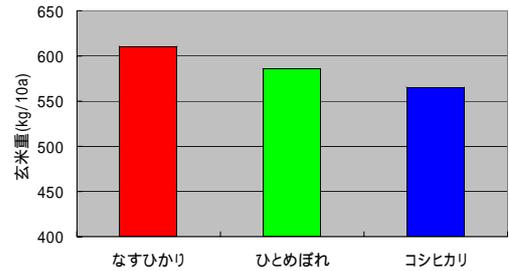


図 - 1 玄米重

表 - 3 食味官能試験結果

	総合評価	外観	香り	味	粘り	柔らかさ
なすひかり	0.45	0.30	0.18	0.34	0.31	0.02
ひとめぼれ	0.41	0.26	0.17	0.25	0.44	0.12
コシヒカリ	0.56	0.35	0.21	0.47	0.59	0.21

注 1. 初星を基準とし評価した。

2. 数字は評価値 (3 ~ -3) の平均値とした。+ 基準より良い - は不良 (粘り：弱い、柔らかさ：硬い) を示す。



写真 - 1 左：なすひかり 右：ひとめぼれ

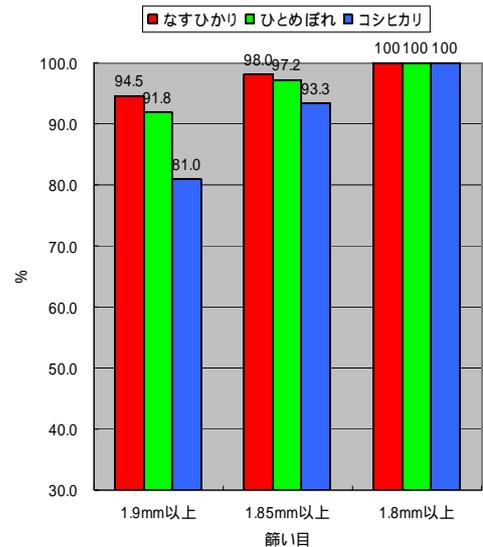


図 - 2 篩目の違いによる歩留まり